

2012 年 5 月 25 日

## フェデックス、北太平洋地区ハブを関西国際空港に開設 ～北アジア - 米国間の輸送能力が拡大～

フェデックス コーポレーションの国際総合航空貨物輸送会社であるフェデラル エクスプレス(フェデックス、本社所在地:東京都千代田区、北太平洋地区担当副社長:氏家 正道)と関西国際空港株式会社(本社所在地:大阪府泉佐野市、代表取締役社長:福島 伸一)とは、関西国際空港にフェデックス北太平洋地区ハブを開設することを決定いたしました。

本ハブは、北アジアから集約した貨物を米国向けに発送するための拠点となります。開設後も、広州白雲国際空港内にあるフェデックス アジア太平洋地区ハブの役割に変更はなく、現在行っている関西国際空港における西日本地域の貨物の取扱いも継続いたします。拡張した施設での 24 時間のオペレーションは、お客様のニーズにより柔軟に対応することが可能となります。

延床面積 25,000 m<sup>2</sup>の北太平洋地区ハブでは、通関業務、ランプオペレーション、仕分けや積み替え業務が行われ、2014 年春頃に操業を開始する予定です。

アジア太平洋地域社長のディビッド・L・カニングハム Jr.は、「2025 年までに貿易額が 14 兆ドル<sup>2</sup>に達するアジア太平洋地域は世界経済の原動力です。当社の北太平洋地区ハブ施設の建設により、域内外のお客様に優れたサービスを提供する環境が整います。アジア太平洋地域経済のさらなる発展に向けて、この新施設が大きな役割を果たせるものと確信しています。」と、述べています。

「関西国際空港はアジア諸都市だけでなく、米国へのアクセスの良さも併せ持つ立地にあり、また、1994 年の開港以来、24 時間体制で素晴らしい運営を続けてこられました。関西国際空港株式会社とは、今後もパートナーとして協業できることに嬉しく思います。フェデックスは今後もアジア経済圏の強力なけん引力を支えられるよう、経営の向上、サービスの拡大に努めます。」と、北太平洋地区担当副社長 氏家正道は述べています。

関西国際空港株式会社代表取締役社長の福島伸一は、「世界最大の国際総合航空貨物輸送会社であるフェデックスの北太平洋地区ハブが関西国際空港に開設されることを大変喜ばしく思っております。北太平洋地区ハブの開設は、グローバルな物流ビジネスに大きなインパクトを与えるものになると認識しており、完全 24 時間運用と豊富な展開用地を有する日本唯一の空港である関西国際空港は、フェデックスの北太平洋地区ハブを強くサポートするとともに、世界のより多くの顧客の皆様のビジネスに貢献できる空港となることを楽しみにしております。」と述べています。

<sup>1</sup> 庇を除いた延床面積。

<sup>2</sup> HSBC Trend Connections Report October, 2011

本リリースは下記の URL からご覧いただけます。

<http://www.fedex.co.jp/pressrelease/2012/10.html>

<http://www.kiac.co.jp/news/2012/index.html>

### **フェデラル エクスプレスについて**

世界最大の総合航空貨物輸送会社であるフェデラル エクスプレス(フェデックス、本社:米国テネシー州)は、迅速かつ高い信頼性の配送サービスを世界 220 以上の国と地域で提供している。フェデックスは空路と陸路のグローバルネットワークを活用し、時間厳守が求められる迅速な貨物輸送、また決められた日時の輸送をマネーバックギャランティー付きで行っている。

マネーバックギャランティーには所定の諸条件が適用されます。

### **フェデックス コーポレーションについて**

フェデラル エクスプレスの持ち株会社であるフェデックス コーポレーション(本社:米国テネシー州、年間売上 420 億ドル)は各種輸送業務、Eコマースおよびビジネスサービスをグローバル規模で展開している。同社はフェデックスブランドのもと、各グループ会社のトータルな強みを発揮しながら、統合されたビジネスソリューションを提供する。各種調査で「世界で最も賞賛され信頼されている雇用主」に名を連ねており、現在 30 万名を超える従業員が在籍している。ホームページアドレスは [news.fedex.com](http://news.fedex.com)。

### **関西国際空港について**

関西国際空港は大阪湾南東部の沖合 5km の海上に 1,055ha の用地を造成して造られた自然環境の保全に配慮した海上空港であり、日本唯一の複数長大滑走路(A 滑走路 3,500m / B 滑走路 4,000m )を持つ 24 時間運用可能な国際空港である。また、国際線と国内線のネットワークが充実し、乗り継ぎが便利であること、鉄道、リムジンバス、高速船等の多様なアクセスが充実しているといった特長を持ち、すべてのお客様に快適で便利にご利用いただけるユーザーフレンドリーな空港である。

<http://www.kiac.co.jp/>

<http://www.kansai-airport.or.jp/cargo/index.html>



